府立八尾高等学校
校長　藤井　光正

令和３年度　学校経営計画及び学校評価

１　めざす学校像

[めざす学校像]

１　「質実剛健」にして「文武両道」に励む生徒を育てる学校
２　母校への誇りと地域への愛を持ち続ける生徒を育てる学校
３　「骨太の人格」を備え 21 世紀を支える人材をつくる学校

（質実剛健：夢実現のため躊躇せず挑戦しへこたれず諦めず地道に努力する気質
文武両道：勉強にも部活動にも行事にも真剣に全力で取り組むこと
骨太の人格：基本がしっかりとしていて決してぶれない心と体）

[生徒に育みたい力]

○　夢と志を語る力（社会に貢献する自分を想像する力／目標を具体的に語る力）
○　努力し続ける力（全力で学び続ける力／貪欲に挑戦し続ける力）
○　人権を尊重し人と繋がる力（仲間をつくる力／仲間を支える力／仲間を率いる力）

（夢：将来実現させたいと思い描いている願い
志：心に思い定めたある方向を目ざす気持ち）

[教職員に望む力]

○　チームの一員として自らの役割を自覚し「生徒に育みたい力」を身につけさせる力（豊かな人間性・実践的な専門性・開かれた社会性）

２　中期的目標

１　「夢と志を語る力」の育成

⑴ 系統的進路指導（なりたい自分から逆算する指導／大学入試改革への対応）　⇒　進路指導満足度をＲ５年度に 90%
(H30:80.5% R01:78.7% R02:78.9%)

⑵ 同窓会の人的資源活用のさらなる推進

⑶ 大教大教職コンソーシアム事業への参加促進／有識者による講演の充実

⑷ アドバンス教育コースの充実

⑸ 進路実現満足度の向上　⇒　満足度 80%以上をＲ５年度まで維持／その結果、国公立大現役進学者数をＲ５年度に 70 人（25%）
(H30:53 人 R01: 62 人 R02: 73 人)

２　「努力し続ける力」の育成

⑴ 高い部活動入部率の維持　⇒　Ｒ５年度まで 90%以上の維持　(H30:94.0% R01:91.4% R02:95.0%)

⑵ 課外学習時間の増加　⇒　Ｒ５年度には２時間 10 分／人・日　(H30:１時間 48 分 R01:１時間 40 分 R02:１時間 55 分)

⑶ 学力生活実態調査２年 10 月時点成績の向上 ⇒Ｒ５年度には 45%　(H30:41.7% R01: 28.6% R02: 40.1%)

３　「人権を尊重し人と繋がる力」の育成

⑴ 学校教育自己診断生徒会行事への積極的取組姿勢肯定率の向上　⇒　Ｒ５年度まで 90%以上の維持　(H30:92.8% R01:93.0% R02:94.8%)

⑵ 高い部活動入部率の維持　⇒　Ｒ５年度まで 90%以上の維持　(H30:94.0% R01:91.4% R02:95.0%)

⑶ 地域、学校園等関係機関と連携した活動の充実

⑷ 人権教育・教育相談活動の充実といじめ防止

４　「チーム八尾高」を支える教員力の向上

⑴ 学校経営計画中期的目標を踏まえた目標設定（全教職員）と高い同僚性を基盤とした業務の推進

⑵ 若手教員を育てる OJT の充実と教職員間のコミュニケーションのさらなる活性化

⑶ 授業力向上のための取組みの充実で授業アンケート結果平均の向上　⇒Ｒ５年度には 3.4　(H30:3.20 R01:3.26 R02:3.37)

⑷ 業務の効率化と時間の有効活用による超過勤務時間縮減と生徒に向き合う時間の拡充

⑸ 大学入学者選抜改革に即応できる教員力の向上

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析［令和３年　月実施分］	学校運営協議会からの意見

府立八尾高等学校

３　本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標　［R２年度値］	自己評価
1「夢と志を語る力」の育成	(1) 系統的な進路指導 (2) 進学指導・キャリア教育・部活動等における同窓生の人的資源の活用促進 (3) アドバンス教育コース改革と大教大教職コンソーシアム事業への参加者数拡充 (4) 進路実現満足度の向上	(1) 教員の進路指導力の向上 (2) 「総合的な探究の時間」における探究活動や進学指導・キャリア教育にかかる場面、部活動指導において同窓会の人的資源を活用 (3) アドバンス教育コース改革を検討教職をめざす生徒に対して大教大教職コンソーシアム事業に参加することのメリットについて周知徹底 (4) 講習の充実と教員の進路指導力向上	(1) 学校教育自己診断（生徒）の「進路指導満足度」を 82%に[78.9%] 国公立大現役合格者数 67(23.9%)[73 (23.2%)] 進路指導力向上研修３回[３回] (2) 八尾市役所等の同窓生と連携した探究活動を３部局以上で展開（新規） 同窓生の協力を得て進路ガイドブック受験体験記の WEB アップ（新規） ２クラブ以上で同窓生を活用した部活動支援を展開（新規） (3) アドバンス教育コース改革のための検討組織を立ち上げ R３年末までに結論を出す 大教大教職コンソーシアム事業参加生徒数の増加[26 人] (4) 進路実現満足度 80%以上の維持 [80.1%]	
2「努力し続ける力」の育成	(1) 高い部活動入部率の維持 (2) 課外学習時間の増加 (3) 学力生活実態調査２年 10 月時点成績の向上	(1) 部活動体験 Week の新設／学校説明会における部員の活用／地域 FM を通じた部活動紹介の継続 (2) 学習時間の記録と目標学習時間の設定により学習の習慣化を図る (3) 具体的な進路目標を早期に定めるための進路指導の充実／部活動と教科学習をバランスよく進めるための学級指導の充実	(1) 入部率 90%以上の維持 [95%] (2) 学力生活実態調査による課外学習時間平均２時間以上　［1 時間 55 分］ (3) 学力生活実態調査２年 10 月時点成績の A 区分以上の生徒数を 45%に [40.1%]	
3「人権を尊重し人と繋がる力」の育成	(1) 主要学校行事満足度の向上 (2) 高い部活動入部率の維持 (3) 地域、学校園等関係機関と連携した活動の充実 (4) 人権教育・教育相談活動の充実といじめ防止対策の充実	(1) 生徒主体の主要学校行事（文化祭・体育祭等）企画・運営をより一層推進 (2) 2(1)に同じ (3) 地域や近隣学校園との連携促進 (4) 人権教育の充実／教育相談係会の機能強化（個別の支援計画の作成主体として学年と連携）／いじめ防止委員会の定例開催と迅速正確な事象対応	(1) 学校教育自己診断（生徒）の「生徒会行事積極的取組姿勢肯定率」90%以上を維持　[94.8%] (2) 2(1)に同じ (3) 地域、学校園等関係機関との連携事業実施回数 30 回以上　［15 回］ (4) 学校教育自己診断（生徒）「人権教育肯定率」80%以上[77.0%]／学校教育自己診断（生徒）「いじめ対策満足度」85%以上の維持[86.3%]	

府立八尾高等学校

４　「チーム八尾高」を支える教員力の向上	(1) 建設的意見を組織として具体化する同僚性の高い教職員集団の形成	(1) 校長通信「雑感」をツールとした情報共有と意見集約さらには意思決定過程の見える化で、チームとして課題解決にあたる経験を共有（新カリの策定／観点別評価／ICT 活用促進）	(1) 学校教育自己診断（教職員）の「学校運営への教員の意見反映」肯定率を80%に[75%] 学校教育自己診断（教職員）の「校長の考え方明示」肯定率 90%以上維持[93%] 学校教育自己診断（教職員）の「校長のリーダーシップ発揮」肯定率 90%以上維持[93%]	
	(2) 授業力向上のための取組みの充実	(2) 授業動画を活用した WEB 授業力向上研修／学習支援クラウドサービスや Web 会議システムを活用した授業に関する研修の実施／工夫のある授業等を校長通信「雑感」で紹介	(2) 授業アンケート結果平均の向上[3.37%]	
	(3) 業務の効率化と時間の有効活用による超過勤務時間縮減と生徒に向き合う時間の拡充	(3) 一斉退庁日の遵守と部活動ガイドラインに基づく部活動指導業務の管理	(3) 超過勤務時間を前年度比５%縮減(R2;11%縮減)	
	(4) 同窓会や報道機関と連携した戦略的広報活動の展開	(4) ホームページのさらなる魅力化と JR 八尾駅経由で通学する生徒の取り込み／卒業生や保護者の協力を得た学校広報活動の展開	(4) 志願倍率の上昇(R３年度選抜;1.25)	